

遺伝子組み換え稲NO!・無農薬・無化学肥料栽培の

新庄水田トラスト

●HOME ●お問い合わせ ●お申し込み ●新庄の天気
●リンク ●事務局 ●掲示板

不提案

最終更新日 2006年11月28日

0

昨日:23 本日:37

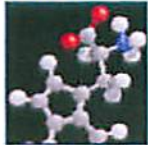
遺伝子組替え稲NO!!

●【連載】『東北大学 鉄欠乏耐性GMイネ批判』(全10回)



2005年夏、東北大学で遺伝子組み換えイネの栽培実験をしていること、またヨーロッパでは、「GMOフリーゾーン」運動が広がっていることを知りました。バイオテクノロジーの光と影を全10回でお伝えします。
→続きを読む

●『GMOバイオハザード トリプトファン事件』



88年から89年にかけて、アメリカで、遺伝子組み換え技術をつかって昭和電工が生産したトリプトファンという健康食品によって、大きなバイオハザードが起きました。
→続きを読む

●『GMOフリーゾーン宣言の背景』笹 輝美(さわのはな生産者)



遺伝子組み換え(GM)作物は、土から遊離した作物である。害虫抵抗性、病原菌耐性の作物が開発されたにしても、それに対する耐性が病害虫に生まれてくる事は、容易に予想できる。
→続きを読む

●根から見た遺伝子組み換えイネと有機栽培イネ



百姓の手で何世代にも渡って育てられてきたイネを、人工的な無理やり組替えを行い、企業と国家の試験場で囲いこみ、生きたままでパテント化された遺伝子組み換えイネ…→続きを読む

●遺伝子組み換えイネの田植え強行される! 安田節子.comより



中央農業総合研究センター(つくば)傘下の北陸研究センター(新潟県上越市)は、日に日に中止を求める声が高まっている中で、5月31日遺伝子組み換え(GM)稲の田植えを強行しました。
→続きを読む

●GMOフリーゾーン運動開始



グローバル化の哲学的・論理的破壊は、私達の生活のあらゆる側面を商品化し、私たちのアイデンティティーを、グローバル市場の単なる消費者に変えていくことを、土台としている。(ヴァンダナ・シヴァ「もう一つの世界は可能だ」より)→続きを読む

●至急!! 新潟上越の『複合耐病性イネ』に対する意見書(転載)



米どころ新潟で遺伝子組み換えイネの試験栽培(田植え)が予定されています。地元の人たちが立ち上がり、29日の説明会に向けて急遽ネットワークが作られました。4月29日が説明会です。
→続きを読む

○「新潟遺伝子組み換えイネいらない」ご報告

●干ばつで沸き立つブラジルのGM作物・モノカルチャー論争 農業情報研究所(WAPIC)より



南部ブラジルの干ばつが国の大豆の15%を生産するリオグランデ・ド・スル州の今年の大豆収穫